

## 全国水平社創立100周年を迎えるに当たって



人権同和教育課

### 「水平社宣言」に込められた精神

令和4年(2022年)3月3日  
全国水平社創立100周年を迎えます。

大正11年(1922年)3月3日  
京都市の岡崎公会堂で開かれた  
全国水平社創立大会には、  
差別からの解放を熱望する多  
くの人々が全国各地から結集  
し、これから始まる水平社運  
動への期待に沸き立ちました。



【石碑「全国水平社創立の地」】

創立大会では、自らの行動によって部落差別をなくすという内容の「綱領」と「人の世に熱あれ、人間に光あれ」で結ばれる「水平社宣言」が発表され、決議されました。この宣言は、「憐れみや同情ではなく、すべての人間を尊敬することで差別をなくす」という精神に貫かれた日本初の人権宣言といわれています。

「水平」の言葉には、「どんな計器をもってきてもそれに勝るのが水の平らかさである。それ以上の尺度はない」などの意味が込められています。創立大会を機に、仲間とともに自ら立ち上がり差別のない社会をつくらうとする水平社運動は、全国に広がりました。



【水平社宣言の全文と荊冠旗が刻まれている  
「水平社宣言記念碑」(奈良県御所市)】

水平社宣言文については、平成30年度発行の「なくそう差別 築こう明るい社会～同和問題基礎資料～」(P24, 25)を参考にしてください。

### 鹿児島ゆかりの伊東茂光校長

水平社創立と同時代に、京都市の小学校で校長を務めながら、地域開発に取り組んだ伊東茂光という人物がいます。鹿児島県に生まれた彼は、崇仁小学校第11代校長として、大正9年(1920年)から27年にわたり教育実践に力を注ぎました。陸上競技や労作教育をはじめとする教育理念を「崇仁教育」としてまとめ、その後、彼の意志を受け継いだ教職員が着実な実践を重ねながら、部落差別解消を目指した生活改善や学力向上のための取組を継続しました。

伊東茂光校長や水平社創立関係の貴重な資料は、柳原銀行記念資料館(京都市)に展示されています。

### すべての学校で部落問題学習の充実を

すべての公立学校の人権同和教育担当者を対象に、5年間をかけて人権教育授業実践研修会を行いました。この研修会は、本課作成の指導案を基にした部落問題学習の提案授業(小6・中2社会科)を通して、人権教育の指導内容・方法等の改善と充実を図ることを目的としています。昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、提案授業はライブ配信や録画視聴等で行い、部落問題学習の授業づくりについて協議しました。



【大隅地区(曾於市立諏訪小学校)の授業の様子】

平成28年の「部落差別の解消の推進に関する法律」の公布・施行から5年が経過しました。この法律の趣旨を踏まえ、すべての学校で、部落問題学習を計画的に進めることが大切です。

部落問題学習は、同和問題をはじめとする様々な人権課題について、差別する側に立たない子どもを育てるための学習です。自分の身の回りの問題と重ねて考えさせながら、更なる取組の充実を図っていきましょう。